

出演者



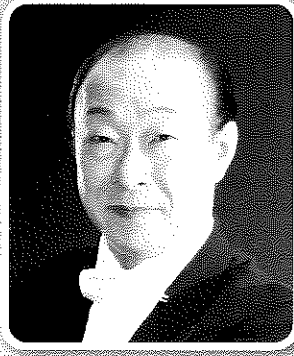
ハモローザと鈴木美穂(ソプラノユニット・ピアノ)

2017年5月、大塚駅南口広場「TRAM/パル大塚」完成記念セレモニーのために結成した4人のソプラノ歌手によるユニットです。今回は3人での出演(下澤明夜・知久晴美・山本ミキ)。結成より地元豊島区の皆様に愛され、たくさんの場で活躍しています。豊島区を彩る薔薇のように、美しく女性らしいハーモニーをお届けします。専属ピアニストとして華をそえる鈴木美穂のピアノ演奏も素晴らしいです。



Gypsy pot(東京都 ヘブンアーティスト)

東京都認定ヘブンアーティスト。民族弦楽器研究者・演奏家ユニット。世界の様々な民族弦楽器を駆使して、グッとくる音楽や踊りだしたくなるような楽しい曲を演奏して「音の世界旅行」へとご案内。



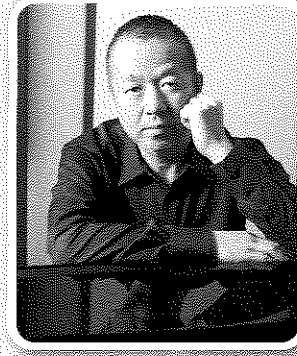
福井克明(バリトン)

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。二期会オペラスタジオ研究生修了。原田茂生、桑原英明、高波征夫、持木弘、持木文子の各氏に師事。1988年埼玉県民オペラ「秩父晩鐘」で本格的オペラデビュー。その後、二期会を始め多くのオペラ、オペレッタやコンサートで活躍。二期会会員、放送大学非常勤講師、さいたま市シニアユニバーシティ講師。



唄うたい 美雲

2014年「日本シャンソン・カンツォーネ振興協会コンクール」準グランプリ受賞。セクシュアリティを超越して多様性を体現しながら、ジャンルを問わず多くの歌を情感豊かに歌い上げる、こころ震わされる唄うたい。



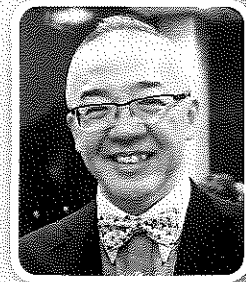
和田典久(ピアニスト、作編曲家)

飛騨高山出身。長く日本のシャンソン&カンツォーネシーンを牽引するプリミエールピアニストとして、全国各地のコンサートホールやシャンソニエ、レコーディング等で精力的な活動を続けるさなか、突然、難病と宣告され運動機能を失い、演奏活動を一度は断念。二度の手術とリハビリを乗り越えて、現在も病と闘いながら演奏活動中。



語り部 川島昭恵

6歳の時、おたふく風邪から髄膜炎を併発し、視力を失う。(身体障害1級) 東京教育大学(現・筑波大学)付属盲学校で小中高と学ぶ。早稲田大学第二文学部卒業。情報処理会社に入社、プログラマーとしての経験を経て、障害者が語りを競う「第1回わたぼうし語り部コンクール」に入選。プロの表現者として様々なシーンで活躍中。NHK-BS、ラジオ等に出演多数。「震える魂がないと、言葉の魂は伝えられない。自分づくりは生涯続く。ただ、目が見えないとか、女とか、日本人とか、粹にはまりたくない。条件をつけた分、わかり合える人が減ってしまうと思うから」



司会 城所信英

豊島区制90周年事業実行委員会 事務局長・としまユネスコ協会副代表